

## 英語科学習指導案

平成 26 年 1 月 21 日（火） 6 校時

2 年 5 組（男子 21 名 女子 18 名）

指導者 荒木 陽一郎

ALT Daniel Shanahan

### 1 単元名 PROGRAM 10 So Many Countries, So Many Customs (SUNSHINE ENGLISH COURSE 2)

#### 2 単元目標

- (1) 比較級・最上級を使って積極的にコミュニケーション活動に取り組もうとする。  
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- (2) 比較級・最上級を用いて、作成した資料をもとに英語で話したり、書いたりすることができる。  
(表現の能力)
- (3) 比較級・最上級を含む英語を聞いたり話したりして、その内容を理解できる。  
(理解の能力)
- (4) 比較表現の文の意味構造を理解している。  
(言語に関する知識・理解)

#### 3 指導観

##### (1) 教材観

本単元では、PART1, 2 でマイクと桃子がそれぞれのホームステイで体験したことを話し合い、また PART3 では二人の共通の友人である由美が二人のホームステイについてスピーチするという構成になっている。近年の学校生活において、ホームステイは比較的身近なもので、生徒の意欲・関心を高めるものである。

言語材料については特殊な比較表現 **more, most, better, best** を扱う。日常の場面でもよく見かける「A と B ではどちらが好き？」という表現を用いてインタビューすることにより、英語で日常会話を表現する意欲を持たせ、またインタビューの結果を発表することにより、英語でプレゼンテーションを行う方法を知る。

##### (2) 生徒観

自分の思いを周りに知ってもらおうと、大きな声で自己表現できる生徒が多い。そのため、授業内でもしっかりと発表する力のある生徒は多い。その反面、特に女子の中には、自信の程度によって声が小さくなってしまいう生徒もいる。

一方で、他者の発表をその内容を思い浮かべながら静かに聞くことに対しては、困難を感じる生徒も多い。

インタビュー活動で相手の意見をしっかりと聞き、クラス全体の様子をしっかりと自信を持って発表できるよう、支援していきたい。

##### (3) 指導観

比較表現についてはつまづきを感じる生徒が多い。比較級、最上級が、それぞれ決まった形に語尾変化するだけでなく、**more, the most, better, the best** などを  
使う特殊な形もあるためであろうと考えられる。

ただ、そういった特殊な形も数多く存在するわけではなく、それらの語句を使った  
代表的な文に何度も触れながら慣れていくことで、解消されるものであろうと考  
える。

また、本単元の最終目標はインタビュー結果をプレゼンすることであり、一人ひ  
とりの好みについて、**Show and Tell** の形で発表することにより、大きな自信を  
持たせることで比較表現に対する苦手意識を取り除き、定着を図れるよう努めたい。

#### 4 単元の評価規準

コミュニケーション への関心・意欲・態 度	表現の能力	理解の能力	言語や文化に関する 知識・理解
比較表現を用いて積 極的にコミュニケー ション活動に取り組 もうとする。	比較表現を用いて正 しく書いたり、話し たりすることができる。	比較表現を含む文を 聞く中でその内容を 正しく理解し、正し く答えたりすること ができる。	比較表現の意味構造 を理解している。

#### 5 授業の流れ

第1時限	6つのグループに分かれ、 <b>Which do you like better, A or B?</b> の表現を 用いてインタビューを行い、結果を持ち寄ってグループでまとめる。
第2時限	それぞれのグループでインタビュー結果をまとめ、 <b>Show &amp; Tell</b> の形で プレゼンテーションできるよう原稿を作成する。
第3時限（本時）	それぞれのグループが、インタビュー結果に基づいて発表する。また、 各グループの発表をよく聞いて質疑応答を行い、理解を深める。

#### 6 本時の指導

(1) 内容 **Which do you like better, A or B?** のインタビュー結果の発表  
( PROGRAM 10 So Many Countries, So Many Customs )

(2) 本時の目標

- ・インタビュー結果を積極的に発表している。  
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)  
(表現の能力)
- ・評価シートに感想や質問事項を記入しながら、各グループのプレゼンにしっかり  
耳を傾けている。(理解の能力)

(3) 本時の指導計画

過程	時間	生徒の活動	JTL・ALTの支援	評価規準及び留意点
導入	3分	Greeting I'm ... It's January 21. It's~	Greeting (ALT) How are you? What's the date today? How's the weather?	大きな声であいさつできているか(関心・意欲・態度)
展開	3分	本時の発表の方法や流れをしっかりと聞く	Explanation in English (ALT) 必要に応じて簡単な補足 (JTL)	プレゼン方法や流れをしっかりと聞いて理解する(理解)
	40分	・ランダムで指名されたグループから、黒板に模造紙を貼って Show & Tell の形で発表 ・聞く側の生徒は評価シートに記入しながら、質疑応答時の質問事項をまとめる ・各発表後に質疑応答の時間を持ち、英語で質問し、それに英語で答える	Some favorable comments on each presentation (ALT) 質疑応答が活発に行われるよう、時に指名したりしながら生徒たちの積極的な態度を促す (JTL)	聞き手に伝わるようにしっかりと発表する(表現) ALTのコメントを逐一日本語訳は行わず、聞いて理解しようとする積極的な態度を促す(意欲・関心・態度) (理解)
まとめ	4分	ALTによるまとめのコメントと JTLによる補足説明にしっかりと耳を傾ける	Whole comments on today's lesson (ALT) 本時で身につけた力の確認とさらなる英語活動にどうつなげていくのかを補足的に説明 (JTL)	ALTのコメントにしっかりと耳を傾け、理解しようとしている(理解)